

款10 教育費

項1 教育総務費

目1 教育委員会費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
8,213,000円	6,764,100円		1,448,900円

委員会に属する事務を適正に管理、執行し、本市における教育振興を図るため、教育委員会を13回開催し、教育行政の基本方針、小・中学校、幼稚園の教育指導方針、重点施策及び条例規則の改正等23件の審議を行うとともに、諸事業の円滑な執行に努めました。

〔委員報酬〕	5,535,600円
・教育委員会委員 委員長 1人 委員 3人	
〔交際費〕	579,550円
〔負担金〕	563,170円
・三重県市町村教育委員会連絡協議会	367,670円
・三重県都市教育長会	114,500円
・全国都市教育長会等	81,000円
〔一般経費〕	85,780円

目2 事務局費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
1,302,715,000円	1,296,808,250円		5,906,750円

教育行政の円滑な運営を推進するため、職員の適正配置により公務能率の向上を図るとともに、職員の健康管理と執務環境の整備に努めました。また、学校校舎建築事業等にPFI手法を採用入れることの実施可能性や整備手法等について調査研究を行いました。

〔一般職給〕 74人	728,612,448円	
〔嘱託職給〕 20人	59,077,561円	(県支出金 2,486,000円)
〔退職手当〕	448,442,083円	
〔PFI推進調査事業費〕	2,868,800円	
〔公立学校施設台帳整備事業費〕	120,692円	
〔事務局管理運営費〕	56,769,531円	
・職員健康管理費	2,382,727円	
・職員研修費	1,221,760円	
・一般経費	53,165,044円	(その他特財 527,554円)
〔教職員住宅経費〕	917,135円	(その他特財 917,135円)
・維持管理費(西松本町、あかつき台四丁目)		

目3 教育振興費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
199,149,000円	184,718,177円		14,430,823円

本市の学校教育指導方針、努力目標を達成するために各種の事業を行い、学校教育の充実に努めるとともに、育英事業、私立学校等の振興にも努めました。

〔小菅科学教育振興基金積立金〕	151,785円
(昭和39年3月設立 本年度末現在高29,216,482円)	
〔奨学資金〕	6,390,166円
四日市市奨学資金貸与規則に基づき、高校生16人、大学生75人、専修学校専門課程学生7人の計98人に奨学資金の貸与を行いました。(貸与額 23,906,000円)	

〔私立学校等振興助成費〕	36,217,206円
・私立学校等運営費補助金	10,929,350円
・私立幼稚園運営費補助金	10,175,880円
・私立幼稚園教員研修費補助金	1,900,576円
・私立幼稚園協会運営費補助金	90,000円
・私立幼稚園保育料補助金	12,691,400円
・私塾教育振興助成費	180,000円
・東海北陸地区私立幼稚園教育研究大会補助金	250,000円
〔四日市大学新学部設置費補助金〕	20,000,000円
平成9年度開設の環境情報学部設置補助（平成7～12年度債務負担事業、総額15億円）	
〔委員報酬〕	189,200円
・心身障害児就学指導委員会委員 4人	
〔教育課程調査検討事業費〕	158,430円
平成14年度から実施される新しい教育課程を円滑に実施できるよう、教育課程検討委員会の設置と各小中学校への啓発を行いました。	
〔児童生徒指導事業費〕	43,846,044円
・教育相談事業費	1,080,000円
3人の教育相談員の他に1人のスクールカウンセラーを西朝明中学校へ配置	
・学校安全教育推進事業費	150,000円
学校安全教育の推進を図るため、研修会を開催。学校安全推進校3校を指定	
・障害児教育推進事業費	349,460円
障害児教育の啓発や推進を図るため、説明会や実践交流会を開催。障害児教育推進校3校を指定	
・環境教育推進事業費	672,525円
市内小学4年生に環境教育学習資料として「くらしとごみ」、「くらしとみず」を配布	
・国際理解教育推進事業費	8,382,411円（その他特財 960,000円）
中学生海外使節派遣として市内公私立中学2年生をロングビーチ市等へ派遣。国際理解推進校6校を指定	
・中学校単位地域すこやか協力者会議事業費	630,000円
学校だけでは解決できない問題行動への対応のため、地域の関係者の代表による会議を開催	
・児童生徒指導対策事業費	9,910,000円
児童・生徒の問題行動に対応するため、各小中学校において、校外補導、夜間の家庭訪問、対策会議等を実施	
・帰国・来日外国人児童生徒教育充実事業費	7,288,050円
市内及び市近辺に在住する適応指導員4人を招致し、主に受け入れ拠点校（笹川東小、中央小、橋北中、西笹川中）において学習指導の補助や日本語の指導、悩み事の相談を担当	
・スクールカウンセラー活用調査研究委託事業費	4,248,040円（県支出金 4,248,000円）
文部省の調査研究委託を受け、児童・生徒の臨床心理に関する専門的な知識を有するスクールカウンセラーの活用に関する調査研究を実施（西笹川中、羽津中）	
・心の教室相談員活用調査研究委託事業費	7,740,000円（県支出金 7,740,000円）
文部省の調査研究委託を受け、生徒が悩み等を気軽に話すことのできる心の教室相談員を配置し、その活用と効果に関する調査研究を実施	
・豊かな人間性をはぐくむ体験活動推進事業費	1,696,333円
学校、家庭、地域社会が連携した、職業体験、三世代交流活動、ボランティア活動等多様な社会体験活動を実施	
・総合的な学習の時間カリキュラム開発支援事業費	1,699,225円
市内小、中20校に各校が創意工夫した特色あるカリキュラムを開発できるよう支援	
〔外国人児童生徒教育充実対策事業費〕	828,370円（県支出金 828,370円）
県教育委員会の委託を受け、外国人児童生徒を対象とした日本人教師による日本語指導の方法及びカリキュラム開発等についての実践的な研究を行い、その研究・実践成果の冊子を県内小中学校へ配布しました。	
〔子育て支援推進事業費〕	660,000円
全公立幼稚園が地域において、子育て支援活動を継続して行うために必要経費として地域活動費を支出し、子育て相談員を派遣した結果、保護者からは一定の評価を得ることができました。	
〔教職員研修費〕	3,009,800円
生徒指導担当者、研修担当者、障害児保育担当者等の資質を高めるために講演会等を開催しました。	

〔英語指導員経費〕	42,885,410円	
姉妹都市ロングビーチ市から英語指導員7人を招致し、県教育委員会から英語指導助手1人の派遣を受けて、中学校英語教育の一層の充実向上を図るとともに、市内及び市近辺に在住する英語指導員を小学校へ派遣しました。		
〔教職員研修費〕	195,000円	
多様化する教育現場の課題解決、管理職の学校管理運営能力の向上を図るため、公立の小中学校長、教頭を対象とした研修をそれぞれ開催しました。		
〔保健給食費〕	1,439,300円	
・保健給食研修費	252,261円	
学校保健会を開催するとともに全国学校保健会に6人(うち職員1人)を派遣		
・環境衛生検査室管理費	647,039円	
学校の環境衛生を維持するため、本町プラザ内に設置している環境衛生検査室の備品を充実		
・四日市学校保健会補助金	540,000円	
学校の保健衛生・安全教育を振興		
〔学校同和教育事業費〕	19,403,459円	
・人権教育推進事業費	3,181,169円	
各校園での人権同和教育の推進を図るため、人権教育推進校委託等各種委託事業を実施		
・指導体制充実事業費	6,278,901円	
教職員の資質向上を図るため、全国人権同和教育研究大会等各種研修会への派遣委託を実施(延べ793人)		
・子どもと創る豊かな同和教育実践事業費	280,000円	(県支出金 280,000円)
公立中学校における同和教育実践研究の推進を図る事業の実施		
・奨学資金	5,288,000円	
四日市市同和奨学資金給付要綱に基づき、高校生32人、大学生12人に支給		
・入学支度金	622,000円	
四日市市同和奨学資金給付要綱に基づき、平成13年度の新入学(園)者26人に支給		
・四日市同和教育研究会運営費補助金	2,000,000円	
・三重県同和教育研究大会運営費補助金	1,753,389円	
〔負担金〕	4,054,180円	
・三泗教育発表振興会	2,577,300円	
三泗地区の小中学校の児童生徒の教育成果を発表		
・三重県乳幼児教育センター	1,101,000円	
県下の乳幼児教育・保育振興の中核機関としての幼児教育センターへの運営費負担金		
・三重県特殊教育振興会等	375,880円	
〔一般経費〕	5,289,827円	

〔成 果〕

多様な教育課題に対応するため、各種の事業を実施しました。なかでも、平成14年度から実施される新しい教育課程に対応できるよう教育課程検討委員会を設置し、小中学校へ啓発を行いました。さらに、児童生徒の豊かな人間性をはぐくむため、多様な体験活動を実施するとともに、子どもたちを取り巻く様々な問題の解決に取り組む中学校単位地域すこやか協力者会議を開催しました。また、私立学校等への運営費補助なども継続して実施し、私学振興に寄与しました。

目4 教育・視聴覚センター費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
202,177,000円	198,041,585円		4,135,415円

新しい教育課題への研究と学校への支援事業を行うため、教育実践に役立つ幅広い研修や教育相談等各種事業を実施しました。また、教育情報機器等の更新を行い、情報教育推進に努めました。

〔教育センター嘱託研究事業費〕 2,525,721円

嘱託研究校園による研究では、市内の幼稚園、小学校から応募のあった6校園が、嘱託奨励研究においては、市内の幼稚園、小中学校から応募のあった13の個人やグループが、それぞれ今日的な教育課題の実践的研究を行いました。

〔教育センター事業費〕 17,139,801円

・教職員研修費 7,984,856円

学習指導、生徒指導、同和教育、情報教育等を教育課題とした75講座(延べ83日)の教職員研修

会には、延べ 4,020人の参加。また、幼稚園グループ研修会（17回、200人）や先進校園への派遣研修（20人）を行い、それらの報告書を発行

- ・教育相談事業費 5,414,289円
心身の発達や行動等に課題をもつ子どもを対象に学校、園、保護者からの要請に応じて相談活動を実施

新規相談件数	相談延回数	訪問相談件数
171 件	2,158 回	12 件

- ・教材開発普及費 568,440円
教材ビデオとして①小学校理科「科学実験～ドライアイスのふ・し・ぎ～」②中学校英語科「The School Life in England（イギリスの学校生活）」③国際理解「虹の国南アフリカ～異文化の生活から～」のビデオ教材を制作し、各小中学校や地区市民センターへ配布

- ・教育課題等研究調査費 3,172,216円
国立教育政策研究所研究部長の指導のもと「総合的な学習の時間」に向けた単元開発に関する研究等4課題の教育課題研究に取り組み、研究成果を関係機関に配布
〔教育センター整備事業費〕 6,426,242円（国庫支出金 3,290,000円）

- ・情報通信技術学習環境整備事業費
IT講習実施のために必要なパソコン及び周辺機器を国の支援により整備
〔教育情報通信システム運営費〕 156,367,140円
中学校コンピュータ室に各校20台を増強し、生徒一人に一台の学習環境整備を行いました。また、小学校のコンピュータ設置教室からのインターネット接続を開始しました。
〔視聴覚ライブラリー事業費〕 5,003,456円（その他特財 1,540,000円）
生涯学習や学校教育の効果的な活動を支援するため、ビデオテープや16ミリフィルム等の視聴覚教材・機器の整備を行いました。

区 分	保 有 数		利 用 状 況			
	購 入 数	保有総数	学校教育	社会教育	そ の 他	計
16ミリフィルム	3	1,202	101	66	12	179
ビデオテープ	88	958	289	79	42	410

区 分	保有総数	利用回数	利用日数
16ミリ映写機	2	23	104
ビデオプロジェクター	4	112	388
スライド映写機	2	15	48

- 〔視聴覚センター事業費〕 1,023,073円
生涯学習施設としてビデオやパソコンを活用した教室、講座等を開催しました。
- 〔適応指導教室事業費〕 3,895,880円（その他特財 370,006円）
不登校児童生徒の社会性や協調性を培い、集団適応能力を高め学校復帰をめざして体験活動、制作活動及び学習を行いました。

開級日数	通級生 38 人				
	復 帰	進 学	再相談	再入級	その他
200 日	3 人	13 人	5 人	15 人	2 人

- 〔不登校児童生徒適応指導総合調査研究委託事業費〕 750,000円（県支出金 750,000円）
不登校状態が継続している児童生徒に対し、教科指導、個別カウンセリング、集団活動など継続的

な適応指導の在り方に関する調査研究を行いました。
 [不登校児童生徒支援ボランティア事業費] 794,064円
 家庭に閉じこもっている児童生徒に対して、学生ボランティア28人が話し相手や遊び相手になり、自立に向けての支援活動を行いました。

家庭派遣状況

派遣件数	派遣回数	学校復帰
12件	126回	1人

体験活動支援状況

活動内容	参加人数	活動回数
卓球、テニス ソフトボール 魚釣り、栽培 宿泊体験等	54人	35回

[負担金] 1,183,500円
 ・三四教育研究協議会 1,100,000円
 ・全国教育研究所連盟等 83,500円
 [一般経費] 2,932,708円 (その他特財 2,034,920円)

[成果]

新しい教育課題としての「総合的な学習の時間」の評価に係わる研究を行うとともに、「総合的な学習の時間」についての理解や実践を中心とした研修講座を増やすなど、時代に即応した研究、研修の取り組みにより、学校への支援体制の充実と教職員の資質向上に寄与しました。
 また、中学校のコンピュータの増強を図るとともに、全小学校でインターネットも開始するなど、新しい情報化社会に対応するための教育機器の充実を図りました。
 さらに、精神科医や臨床心理士による教育相談の充実を図るとともに、どこの機関にもかかっていない不登校児童生徒の家庭に、希望により話し相手・遊び相手となる大学生ボランティアを派遣し、不登校児童生徒の自立への支援を行いました。

項2 小学校費
 目1 学校管理費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,964,343,000円	1,923,901,223円		40,441,777円

本市の小学校は39校で、学級数は620学級(うち障害児学級60学級)、児童数17,807人(うち障害児学級132人)であり、前年度に比べて学級数で1学級の増(うち障害児学級は5学級増)、児童数で142人の減となり、障害児学級を除いて1校平均14.4学級、1学級平均31.6人となっています。

また、教育環境保持のため、校舎等施設の適正な維持管理に努めました。

[非常勤職員報酬] 44,504,770円
 ・校医 44人 23,018,690円
 ・歯科医 44人 17,691,080円
 ・薬剤師 39人 3,795,000円
 [一般職給] 101人 817,293,584円
 [嘱託職給] 21人 60,315,514円
 [学校管理運営費] 432,261,562円 (その他特財 691,656円)
 ・一般管理運営費
 [学校保健衛生管理費] 57,983,578円
 ・児童健康診断費 41,545,121円
 学校保健法に基づき、心臓・検便・検尿等児童の定期健康診断や就学時の内科・歯科検診を実施したほか、健康増進事業の一つとして眼科・耳鼻科の専門医検診を実施
 ・教職員健康診断費 9,137,258円
 学校保健法に基づき、教職員の健康管理を維持するため、胃検診・結核間接・血液検査・B型肝炎等の諸検査を実施
 ・一般管理運営費 7,301,199円
 [学校給食管理運営費] 58,108,878円
 ・四日市市学校給食協会補助金 5,900,000円

学校給食物資の安定供給とともに、保護者負担の軽減をはかるため設立された同協会に対し補助金を交付

・なかよし給食事業費	1,837,395円		
・給食従事者健康診断費	1,483,440円		
集団給食の衛生面での安全を図り、併せて給食従事者の健康管理を図るため、O-157対策を含めた検便を実施			
・一般管理運営費	48,888,043円		
[学校管理備品整備費]	52,235,653円		
・一般備品	30,656,549円		
・一般保健室備品	2,090,795円		
・一般給食備品	19,488,309円		
うちO-157関係	19,950円		
[修学旅行引率事業費補助金]	511,918円		
[負担金]	21,166,813円		
・学校災害賠償補償保険料等	1,841,223円	(その他特財	195,300円)
・日本体育学校健康センター共済掛金	15,305,395円	(その他特財	7,004,340円)
・三重県学校保健会	267,105円		
・全国連合小学校長会等	3,753,090円		
[学校管理運営費]	379,518,953円		
・一般管理運営費	18,228,781円		
学校用地借地料			
・施設維持管理費	91,832,371円	(その他特財	419,542円)
・施設補修費	269,457,801円		

目2 教育振興費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
374,478,000円	354,698,733円		19,779,267円

豊かな人間性を持ち、たくましく生きていくための基礎となる力を培うために、一人ひとりの児童に応じた各種事業に取り組みました。また、各小学校の教授用諸経費並びに教材教具の整備充実に努めました。

[学校体育振興事業費]	305,115円		
学校体育を振興して児童の体力向上及び運動に親しむ態度を育成するため、小学校陸上記録会、みんなでチャレンジ、学校体育研修会を開催するとともに学校体育推進協力校1校を指定しました。			
[自然教室事業費]	7,140,450円		
市内小学校5年生を対象に実施			

実施場所	実施校	参加人数	実施日数
四日市市少年自然の家	39校	2,958人	1泊2日

[教材・教具整備費]	66,317,016円		
・一般教材・教具	58,264,048円		
・理科教育振興備品	8,052,968円	(国庫支出金	2,697,000円)
[障害児学級費]	50,040,192円		
・児童介助費	47,345,690円		
多動性の情緒障害児及び肢体不自由児をもつ障害児学級に介助員(25校49人)を配置し、教育効果をあげました。			
・一般教材備品費	2,694,502円	(国庫支出金	476,772円)
既存の障害児学級の一般備品及び障害児学級の新増設にともなう備品			
[就学奨励費]	77,673,824円		
・要保護準要保護児童就学援助費	74,410,760円	(国庫支出金	23,648,346円)
経済的理由により就学困難な児童の保護者に対して、学用品・入学準備金・給食費・通学費等を援助			
・障害児教育就学奨励費	3,263,064円	(国庫支出金	1,412,255円)
障害児学級への就学の特殊事情を考慮し、保護者の経済的負担を軽減するため、その必要経費の一部を補助			

〔学校図書館図書整備事業費〕 31,577,634円

〔学校同和教育事業費〕 687,706円

・特別就学奨励費

同和地区児童の就学を奨励することを目的とし、児童39人に学用品、通学用品費、修学旅行費、校外活動費を支給

〔一般経費〕 120,956,796円

〔成 果〕

自然教室事業では、日頃の学校生活では得がたい児童同士の交流や、自然とのふれあいを通して貴重な体験を積むことができました。また、教材・教具などの整備を図るとともに、障害児の適正な就学を促すため、さらなる学習環境の充実を図りました。

目3 学校建設費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
1,040,522,000円	1,035,477,285円		5,044,715円

本年度の重点施策として老朽校舎の改築をはじめ、バリアフリー化、給食室改修事業を継続して行うとともに、既設校舎の耐震補強整備として診断調査・補強設計や補強改修などを実施しました。

〔校舎建設事業費〕 764,967,800円

・中部西小学校改築事業費

事 業 内 容	実 施 額	う ち 特 定 財 源	
鉄筋コンクリート造3階建 4,281m ² 、普通教室14室、図書室、情報室、情報・書架・コンピュータスペース、ランチルーム、管理諸室、既設校舎改修、外構、工事監理委託（平成11・12年度債務負担事業） 仮設校舎リース（平成10～13年度債務負担事業）	741,312,350	国庫支出金 市 債	153,430,000 228,800,000

・八郷小学校改築事業費

事 業 内 容	実 施 額	う ち 特 定 財 源	
地質調査、改築工事設計	17,040,450		

・大矢知興譲小学校増築事業費

事 業 内 容	実 施 額	う ち 特 定 財 源	
増築工事設計	6,615,000		

〔施設整備事業費〕 119,548,141円

・バリアフリー化施設整備費

事 業 内 容	施 行 箇 所	実 施 額	う ち 特 定 財 源	
障害者用トイレ設置、便器改修（和式→洋式）、廊下・階段手摺設置、出入口スロープ設置、工事設計、車いす用電動階段昇降機 外	富洲原小学校 東橋北小学校 下野小学校 外	55,020,241	市 債	33,700,000

・給食室改修費

事業内容	施行箇所	実施額	うち特定財源	
内部改修（間仕切・床排水・天井壁）、食品倉庫等増築、空調設備設置、工事設計 外	塩浜小学校 三重北小学校 外	47,395,950	国庫支出金	4,666,000

・その他施設整備費

事業内容	施行箇所	実施額	うち特定財源	
プール水槽塗装、教室間仕切改修 プレハブ教室リース（平成11～14 年度債務負担事業） 外	四郷小学校 外	17,131,950		

〔校舎等譲受費〕 12,917,820円

事業内容	施行箇所	実施額	うち特定財源	
昭和54～平成16年度債務負担事業	笹川東小学校	1,230,740		
昭和50～平成20年度債務負担事業	笹川西小学校	11,687,080		

〔耐震診断調査費〕 22,716,750円

事業内容	施行箇所	実施額	うち特定財源	
耐震診断調査 教室棟・管理棟・体育館	富田小学校 外20校	22,716,750		

〔耐震診断調査費（緊急雇用対策）〕 13,551,300円

事業内容	施行箇所	実施額	うち特定財源	
耐震診断調査 教室棟・管理棟・体育館	羽津小学校 外11校	13,551,300	県支出金	13,551,300

〔耐震補強事業費〕 82,328,400円

事業内容	施行箇所	実施額	うち特定財源	
鉄筋コンクリート壁増設、鉄骨筋 交増設、内装改修、工事設計 外	海蔵小学校 常磐小学校 小山田小学校 外	82,328,400	国庫支出金 市 債	31,537,000 12,300,000

〔校舎外壁調査費（緊急雇用対策）〕 8,580,600円

事業内容	施行箇所	実施額	うち特定財源	
校舎外壁等安全点検調査	常磐小学校外10校	8,580,600	県支出金	8,580,600

〔事業事務費〕	10,866,474円
・一般職給 1人	5,981,000円
・その他事務費	4,885,474円

〔成 果〕

中部西小学校の改築を竣工させるとともに、富田小学校などで耐震診断調査及び補強設計を実施、海蔵小学校などで耐震補強改修を施工し、学習環境の向上と安全性の確保に努めました。

また、学校給食環境整備のため塩浜小学校などで給食室の改修を行い、調理場の衛生管理強化を図るとともに、円滑な学校生活のため富洲原小学校などでバリアフリー化工事の実施や、車いす用電動階段昇降機を導入するなど、障害者と健常者が共に学べる環境整備を進めました。

項 3 中学校費

目 1 学校管理費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
643,896,000円	625,970,814円		17,925,186円

本市の中学校は21校で、学級数は 287学級（うち障害児学級28学級）、生徒数 8,908人（うち障害児学級50人）であり、前年度に比べて学級数で1学級の増（うち障害児学級は3学級増）、生徒数で198人の減となり、障害児学級を除いて1校平均12.3学級、1学級平均34.2人となっています。

また、教育環境保持のため、校舎等施設の適正な維持管理に努めました。

〔非常勤職員報酬〕	21,876,880円	
・校医 22人	10,896,360円	
・歯科医 22人	8,847,520円	
・薬剤師 21人	2,133,000円	
〔一般職給〕 11人	91,142,239円	
〔嘱託職給〕 10人	30,205,531円	
〔学校管理運営費〕	194,851,669円	（その他特財 116,295円）
・一般管理運営費		
〔学校保健衛生管理費〕	29,621,747円	
・生徒健康診断費	20,638,455円	
学校保健法に基づき、心臓・検便・検尿等生徒の定期健康診断を実施したほか、健康増進事業の一つとして、眼科・耳鼻科の専門医検診を実施		
・教職員健康診断費	5,706,723円	
学校保健法に基づき、教職員の健康管理を維持するため、胃検診・結核間接・血液検査・B型肝炎等の諸検査を実施		
・一般管理運営費	3,276,569円	
〔学校給食管理運営費〕	69,620円	
〔学校管理備品整備費〕	21,153,372円	
・一般備品	19,937,199円	
・一般保健室備品	1,216,173円	
〔修学旅行引率事業費補助金〕	2,185,671円	
〔負担金〕	10,172,085円	
・学校災害賠償補償保険料	835,020円	
・日本体育学校健康センター共済掛金	7,735,545円	（その他特財 3,483,480円）
・三重県学校保健会	133,620円	
・全日本中学校長会等	1,467,900円	
〔学校管理運営費〕	224,692,000円	
・一般管理運営費	12,284,475円	
学校用地借地料等		
・施設維持管理費	49,268,580円	（その他特財 122,636円）
・施設補修費	163,138,945円	

目 2 教育振興費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
218,079,000円	203,812,251円		14,266,749円

豊かな人間性を持ち、たくましく生きていくための基礎となる力を培うために、一人ひとりの生徒に応じた各種事業に取り組みました。また、教育課程の充実、生活指導の強化など、学校教育の努力目標を達成するため、各中学校の教授用諸経費並びに教材教具の整備充実に努めました。

〔障害児学級費〕 366,110円

・ 連合合宿費

学校や家庭を離れ、自然の中で教師と生徒が生活を共にすることにより、将来の社会生活に向けた自立の基礎を培いました。

〔自然教室事業費〕 9,831,655円

市内中学校2年生を対象に実施

実 施 場 所	実施校	参加人数	実施日数
四日市市少年自然の家 鈴鹿青少年センター	19校	2,528人	2泊3日
	2校	475人	2泊3日

〔中学生サミット推進事業費〕 84,650円

生徒会活動の活性化と生徒会リーダー育成をねらいとして、市内中学校21校から生徒4人と生徒会顧問1人を参加させ、研修会を開催しました。

〔教材・教具整備費〕 47,463,196円

・ 一般教材・教具

42,221,482円

・ 理科教育振興備品

5,241,714円 (国庫支出金 1,615,000円)

〔障害児学級費〕 13,803,084円

・ 生徒介助費

11,687,309円

多動性の情緒障害児及び肢体不自由児をもつ障害児学級に介助員(6校11人)を配置し、教育効果をあげました。

・ 一般教材備品費

2,115,775円 (国庫支出金 879,228円)

既存の障害児学級の一般備品及び障害児学級の新增設にともなう備品

〔部活動指導委託費〕 5,242,180円

学校管理下における教育課程外の教育活動である部活動(文化部・体育部)を円滑かつ積極的に推進するため、指導委託を行いました。

〔就学奨励費〕 34,959,123円

・ 要保護準要保護生徒就学援助費

33,473,870円 (国庫支出金10,940,654円)

経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対して、学用品・入学準備金・給食費・通学費等を援助

・ 障害児教育就学奨励費

1,485,253円 (国庫支出金 661,745円)

障害児学級への就学の特殊事情を考慮し、保護者の経済的負担を軽減するため、その必要経費の一部を補助

〔学校図書館図書整備事業費〕 18,152,837円

〔学校同和教育事業費〕 1,496,375円

・ 人権教育推進事業費

837,600円

人権学習用指導図書・資料

・ 特別就学奨励費

658,775円

同和地区生徒の就学を奨励することを目的とし、生徒20人に学用品、通学用品費、修学旅行費、校外活動費を支給

〔一般経費〕 72,413,041円

〔成 果〕

自然教室事業では、日頃の学校生活では得がたい生徒同士の交流や、自然とのふれあいを通して貴重な体験を積むことができました。また、中学生サミット推進事業では、いろいろな学校の実践を参考にし、生徒会活動の活性化に役立ちました。また、教材・教具などの整備を図るとともに、障害児の適正な就学を促すため、さらなる学習環境の充実に努めました。

目3 学校建設費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
186,940,000円	186,297,917円		642,083円

バリアフリー化事業を継続して行うとともに、既設校舎の耐震補強整備として診断調査・補強設計や補強改修などを実施しました。

〔施設整備事業費〕 52,034,745円

・バリアフリー化施設整備費

事業内容	施行箇所	実施額	うち特定財源	
障害者用トイレ設置、階段手摺設置、出入口スロープ設置、工事設計、車いす用電動階段昇降機 外	三重平中学校 内部中学校 外	29,673,945	市債	18,200,000

・その他施設整備費

事業内容	施行箇所	実施額	うち特定財源	
テニスコート整備工事、職員室増築工事 外	朝明中学校 外	22,360,800		

〔校舎等譲受費〕 8,165,160円

事業内容	施行箇所	実施額	うち特定財源	
昭和49～平成21年度債務負担事業	西笹川中学校	8,165,160		

〔耐震診断調査費〕 12,005,700円

事業内容	施行箇所	実施額	うち特定財源	
耐震診断調査 教室棟・管理棟・体育館	南中学校 外9校	12,005,700		

〔耐震診断調査費（緊急雇用対策）〕 10,458,000円

事業内容	施行箇所	実施額	うち特定財源	
耐震診断調査 教室棟・管理棟・体育館	西笹川中学校 外8校	10,458,000	県支出金	10,458,000

〔耐震補強事業費〕 86,095,800円

事業内容	施行箇所	実施額	うち特定財源	
鉄筋コンクリート壁増設、内装改修、工事設計 外	山手中学校 富田中学校 外	86,095,800	国庫支出金 市債	39,084,000 11,400,000

〔校舎外壁調査費（緊急雇用対策）〕 5,909,400円

事業内容	施行箇所	実施額	うち特定財源	
校舎外壁等安全点検調査	富田中学校外6校	5,909,400	県支出金	5,909,400

〔事業事務費〕 11,629,112円
 ・一般職給 1人 9,078,000円
 ・その他事務費 2,551,112円

〔成果〕

安全性を高めるための取り組みとして、南中学校などで耐震診断調査や校舎外壁等の安全点検調査、耐震補強設計を行い、山手中学校などでは補強改修を施工するとともに、円滑な学校生活のため、三重平中学校などでバリアフリー化工事の実施や、車いす用電動階段昇降機を導入するなどして障害者と健常者が共に学べる環境整備を進めました。

項4 幼稚園費
 目1 幼稚園費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
969,230,000円	957,635,444円		11,594,556円

本市の幼稚園は22園で、学級数は59学級、園児数 1,485人であり、前年度に比べ学級数で2学級増加し園児数で18人の増となり、1園平均 2.7学級、1学級平均25.2人となっています。なお、文部科学省の「幼稚園教育振興計画要項」に基づき、公立幼稚園における3歳児保育の基礎的・基本的条件を把握するため、下野幼稚園（1学級25人）で3歳児保育を試行しました。

また、教育環境保持のため、園舎等施設の適正な維持管理・整備に努めました。
 なお、幼稚園使用料 122,663,600円を本年度収入しました。

〔非常勤職員報酬〕 12,824,350円
 ・園医 22人 5,922,950円
 ・歯科医 22人 5,581,400円
 ・薬剤師 22人 1,320,000円
 〔一般職給〕 76人 564,642,628円（その他特財 2,913,000円）
 〔嘱託職給〕 23人 74,941,279円
 〔私立幼稚園就園奨励費補助金〕 124,721,125円（国庫支出金 37,218,000円）

私立幼稚園に就園する園児の保護者に対して次の区分により保育料の補助を行いました。
 補助対象者 2,020人

平成12年度市町村民税	年間補助限度額	補助対象者	合計
非課税世帯 (生活保護世帯を含む)	第1子 133,750円	83人	92人
	第2子 146,000円	9人	
	第3子 160,000円	0人	
所得割非課税世帯	第1子 101,800円	52人	58人
	第2子 117,000円	6人	
	第3子 134,000円	0人	
所得割課税の額が 8,800円以下の世帯	第1子 78,100円	89人	99人
	第2子 97,000円	9人	
	第3子 116,000円	1人	
所得割課税の額が 102,100円以下の世帯	第1子 54,900円	1,597人	1,771人
	第2子 75,000円	174人	
	第3子 96,000円	0人	

〔園管理運営費〕	106,365,238円	〔国庫支出金 その他特財〕	166,000円 44,334円
・一般管理運営費			
〔園保健衛生管理費〕	945,648円		
・園児健康診断費	546,504円		
学校保健法に基づき内科・歯科の健康診断を実施			
・一般管理運営費	399,144円		
〔園管理備品整備費〕	5,887,244円		
幼稚園の保育用教材及び教具の充実を図りました。			
〔教材・教具整備費〕	2,399,984円		
〔教育振興一般経費〕	17,635,374円		
幼稚園の教育の振興を図るため、卒園記念品・保育用消耗品を購入しました。			
〔負担金〕	1,038,994円		
・学校災害賠償補償保険料	134,524円		
・日本体育学校健康センター共済掛金	438,370円	（その他特財	193,180円）
・全国国公立幼稚園長会等	466,100円		
〔園管理運営費〕	33,409,566円		
・一般管理運営費	65,589円		
幼稚園用地借地料			
・施設維持管理費	8,727,200円	（その他特財	48,300円）
・施設補修費	24,616,777円		
〔施設整備事業費〕	12,146,400円		
・園舎等整備費			

事業内容	施行箇所	実施額	うち特定財源	
園舎改修、テラス雨避け設置	常磐中央幼稚園 川島幼稚園	5,880,000		

・その他施設整備費

事業内容	施行箇所	実施額	うち特定財源	
職員室用空調設備整備、自動火災報知設備改修 外	泊山幼稚園 外	6,266,400		

〔学校同和教育事業費〕	677,614円		
・指導体制充実事業費			
幼稚園教員の資質向上を図るため、三重県解放保育研究集会等各種研修会へ延べ54人参加			

〔成果〕

教材・教具及び管理備品の整備により、さらなる保育環境の充実を図りました。また、園舎等施設の維持管理上必要な補修工事等を行い、施設の安全性、機能性の維持を図る環境整備を進めました。

項5 社会教育費
目1 社会教育総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,210,850,000円	1,189,531,783円		21,318,217円

市民の幅広い学習要求に応えるとともに、現代的な視点も踏まえ、市民大学を一般クラスと熟年クラスに分け、市民の生涯学習の場として充実を図っています。また、市民の学習活動の場の整備に努めるとともに、社会教育関係団体の活性化と指導者の育成に努めました。

〔一般職給〕	85人	837,062,573円
〔嘱託職給〕	34人	113,198,165円
〔委員報酬〕		290,500円
・社会教育委員	9人	
〔社会教育指導者研修費〕		759,045円
社会教育委員、社会教育推進員、地域社会づくり担当職員等の研修		
〔生涯学習振興事業費〕		26,339,486円
・市民大学経費		8,004,085円（その他特財 2,957,300円）

一般クラス	講 座 内 容	回数	受講者数	期間・場所
A	「あなたのための博学ゼミナール」	5	133	} 12.7.25 ~ 12.11.17 市文化会館 市総合会館
B	「21世紀への展望」	5	71	
C	「生きること」	5	84	
D	「実践カウンセリング講座」	10	53	
E	「四日市学」	10	49	
F-1	「情報学入門」	2	74	
F-2	「情報学入門」	2		
G	「市民まちづくり講座」	5	25	四日市大学 市総合会館

閉講式 講師 運 舩 報道キャスター

熟年クラス	講 座 内 容	回数	受講者数	期間・場所
教 養 課 程	郷土、健康、人権等に関する講義、クラブ活動、社会見学、文化祭等	25	132	12.6.2~13.2.28 市総合会館・中部地区市民センター
専 攻 課 程	生き方、古典文学・芸能、人権、ボランティア等に関する講義、クラブ活動、社会見学、文化祭等	25	120	

入学式 講師 森 豊 日本カモシカセンター専務理事
修了式 講師 内藤 洋子 エッセイスト

- ・生涯学習推進事業費（緊急雇用対策） 125,066円（県支出金 125,066円）
- 生涯学習情報提供（ホームページ作成）経費
- ・全国生涯学習フェスティバル実行委員会補助金 11,734,464円
- 第12回全国生涯学習フェスティバル四日市市会場として、四日市ドーム周辺や中心市街地において、三世代交流の学びの広場や、市民企画プログラム、青少年の科学の祭典等を実施
- ・情報通信技術講習推進事業費（IT講習） 6,475,871円（県支出金 6,475,871円）
- 20歳以上の市民を対象にパソコンの基本操作、インターネットや電子メールの利用など、基本的な技能を習得することを目的とした講習を国の支援を受けて実施（24講座、受講者数480人）
- 〔なや学習センター整備事業費〕 6,901,303円（国庫支出金 3,290,000円）
- ・情報通信技術学習環境整備事業費
- なや学習センターでのIT講習実施のために必要なパソコン及び周辺機器を国の支援により整備
- 〔なや学習センター維持管理費〕 7,887,505円（その他特財 166,740円）
- 〔成人の日行事開催費〕 5,582,046円
- 新成人約 3,300人を対象に、平成13年1月8日四日市ドームで、新成人実行委員会企画による「記念式典」並びにアトラクションとして、新成人の中学時代の恩師のビデオレターを上映、また勤労青少年ホーム利用者連絡協議会メンバーの企画による「お茶席」、「写真撮影」を行いました。
- 〔各種団体活動費〕 472,430円
- ・四日市市PTA連絡協議会運営費補助金等 252,000円
- ・四日市市婦人会連絡協議会運営費補助金等 112,500円
- ・各種団体研修費 107,930円
- 〔青年海外派遣事業費補助金〕 318,000円
- 近畿2府7県の主催する近畿青年洋上大学に本市在住・在勤の青年を派遣しました。

〔負担金〕	29,445,820円
・三重県社会教育関係団体指導者賠償責任保険料	585,820円
・三重県社会教育委員連絡協議会等	60,000円
・全国生涯学習フェスティバル実行委員会負担金	28,800,000円

〔成 果〕

市民大学は市民の多様な学習要求に応えるとともに、社会的課題の解決に向けて学習機会を提供しています。本年度一般クラスは、「カウンセリング」「四日市学」「情報学入門」への応募が定員を超える盛況ぶりとなりました。また、都市計画課と共催した「市民まちづくり講座」は、タウンウォッチングや地図づくりをしてまちづくりを学んでいただく手法が受講者に好評でした。

熟年クラスについても教養課程 120人の定員に対して 151人の応募があり、高年齢の生涯学習への関心の高さを示しています。教養を高めるとともに、クラブ活動などをもとに地域での活動を広げるなど社会参加も図っています。

第12回全国生涯学習フェスティバルは平成12年11月1日～5日、四日市市を含む県内5都市1地域で開催されました。四日市市では開催地実行委員会事業として、四日市ドームを主会場に「2000年からのメッセージ 出あい、ふれあい、学びあい」をテーマに、子どもから大人まで多くの市民が日頃の学習活動の成果を発表したほか、来場者が学ぶことの楽しさを発見するきっかけづくりの場となる催し等を展開しました。また、「市民企画ボランティア」を公募し、市民が企画から運営までを行う事業も実施しました。（参加来場者数30,200人）

〔委員報酬〕	116,200円
--------	----------

- ・文化財保護審議会委員 14人

〔文化財維持管理事業費〕	5,706,696円
--------------	------------

〔埋蔵文化財整理作業所整備事業費〕	3,391,160円
-------------------	------------

急増している埋蔵文化財調査に対応できる施設の改善を図りました。

〔埋蔵文化財保護事業費〕	14,025,227円
--------------	-------------

- ・埋蔵文化財保護事業費 6,122,879円

開発行為にともなう遺跡の発掘調査（分布・立ち会い・試掘計30ヶ所）及び資料の復元作業 9/16～10/9「四日市市埋蔵文化財展2000」（博物館4階特別展示室/観覧者 2,018人）

- ・埋蔵文化財発掘調査事業費 7,902,348円

〔国庫支出金 3,951,000円〕
〔県支出金 1,317,000円〕

宅地造成にともなう西ヶ谷遺跡並びに個人住宅建設にともなう大矢知山畑遺跡の調査を実施 1月に大矢知山畑遺跡の現地説明会を実施（参加者60人）

〔埋蔵文化財発掘調査受託費〕	41,045,050円
----------------	-------------

- ・一般職給 2人 16,876,094円（その他特財16,876,094円）

- ・発掘調査費 19,803,956円（その他特財19,803,956円）

平成8年度から14年度まで、国土交通省の受託事業として国道1号北西バイパス建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査（山奥遺跡発掘調査並びに四方天遺跡・四反田遺跡・北之脇遺跡・羽津広遺跡の試掘調査）

- ・埋蔵文化財民間開発調査受託事業費 4,365,000円（その他特財 4,365,000円）

中部電力南四日市変電所の建設工事にともない、貝家町字荒起の菅野遺跡を発掘調査

〔遺跡管理システム開発事業費（緊急雇用対策）〕	
-------------------------	--

11,130,000円（県支出金 11,130,000円）

遺跡GIS（地理情報システム）を開発しました。

〔文化財保存対策事業費〕	11,542,922円
--------------	-------------

- ・御池沼沢植物群落環境整備事業費 2,554,650円

御池沼沢植物群落の保存のために西指定地の井戸浚渫工事。また、西指定地への竹の侵入を防ぐために溝の設置工事

- ・御池沼沢植物群落保存対策事業費 688,550円

御池沼沢植物群落の今後の保存管理を検討するために専門家による委員会を開催。今後の保存対策について検討

- ・指定文化財保存事業費補助金等 8,299,722円

〔国庫支出金 1,500,000円〕
〔県支出金 300,000円〕

「県指定有形民俗文化財大入道山車」収蔵庫の老朽化が激しく、また、収蔵庫の耐震・耐火性能の向上のために平成11年度から2カ年継続で改修をしているので、国、県とともに補助金を交付。また、市指定有形文化財宝性寺に白蟻が発生したので、その防蟻工事に補助金を交付

なお、平成12年度から2ヶ年事業で「北勢鯨船行事調査」を専門家を委嘱して実施。また、未指

定のシデコブシの分布調査を専門家に委託して実施
〔丹羽文雄記念館調査研究費〕 3,347,229円

文化勲章受章者であり本市の名誉市民である丹羽文雄氏の記念館について、図書館での開設に向けて、展示基本計画・設計を実施しました。また、博物館で平成13年2月22日～3月13日の期間で「丹羽文雄－その人と文学」展を共催しました。

〔成 果〕

かけがえのない文化遺産の保護を図るために、埋蔵文化財の保護については、開発行為にともない適切に対応するとともに、その成果の一端を紹介し、市民の埋蔵文化財への理解を深めるために「四日市市埋蔵文化財展2000」を開催しました。また、過去の発掘調査記録を幅広く公開するために埋蔵文化財調査報告書の復刻版刊行や頒布用増刷を行いました。

その他の文化財についても、適切な整備修復と維持管理に努めるとともに、積極的な保存を図るために「北勢鯨船行事調査」事業並びに「未指定シデコブシ分布」事業を実施しました。また、「(仮称)丹羽文雄記念館」調査事業の一環として、展示基本計画・設計を行いました。

〔社会同和教育事業費〕 36,626,876円

市民的権利・自由の侵害である部落差別の解消のため、同和教育資料「みつめてみようⅢ」の発行などの教育・啓発事業を行いました。また、教育集会所活動においては、同和地区住民の社会的・経済的・文化的向上に資するため、各種講座や生活指導・学習指導・相談事業を行いました。

- ・啓発活動事業費 10,553,002円
 - 一般啓発事業 5,391,042円 (県支出金 3,831,000円)
 - 同和教育資料の作成、「人権を考える月間講演会」の開催
 - 住民組織啓発事業 5,161,960円
 - 22地区同和教育推進協議会に対して同和教育推進業務の委託
- ・学習活動促進事業費 6,946,953円 (県支出金 2,558,000円)
 - 市民会館、教育集会所における各種教養講座の開設、神前柔道教室、天白卓球教室、高齢者いきいき講座の運営委託
- ・住民学習施設整備事業費 981,855円
 - 赤堀児童集会所エアコン取替工事等
- ・指導体制充実事業費 2,774,893円 (県支出金 378,000円)
 - 職員の外部研修(三重県同和教育研究大会等研修に延べ346人参加)、図書、啓発ビデオの購入により指導体制を充実
- ・進路保障事業費 15,370,173円
 - 生活指導事業 6,941,200円
 - 家庭訪問等校外における生活指導
 - 学習指導事業 8,428,973円
 - 学習意欲、基礎学力向上のための学習指導

〔社会同和教育学習活動促進費〕 5,136,380円

- ・三同教大会派遣補助金 237,500円
- ・地区住民派遣補助金 510,680円
- ・各種団体運営費補助金 4,142,000円
- ・集会所運営委員会経費 246,200円

〔一般経費〕 29,207,170円

〔成 果〕

事業の継続により、自主自立に向けた地区内の各種団体等の計画的な取り組みや教養講座の自主的な運営が行われています。また、同和問題解消に取り組む住民組織としての同推協活動については、住民自らの手による一層効果的な活動をめざす取り組みが行われています。

目2 文化振興費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
962,052,000円	431,035,913円	524,000,000円	7,016,087円

心の豊かさを求める時代の中で魅力的な文化環境を整備し、文化行政に対する市民要望に応えるために市民自らの創作活動の場を提供したり、芸術文化の鑑賞の機会の充実に資するために各種の施策を実施しました。

なお、翌年度繰越額については、文化会館整備事業に係るものです。

〔文化事業開催費〕 11,869,426円

- ・美術展覧会 3,143,856円
10月25日から29日まで文化会館展示室及び第4ホールで開催
日本画・洋画・彫塑・工芸・写真・書道6部門、作品数622点、入賞作品84点、観覧者数4,157人
- ・市民文化祭等 5,100,000円
5月28日から13年3月18日にかけて文化会館を中心に開催。伝統芸能、舞台発表、作品展示等文芸発表等の多彩な催しを開催（入場者数13,800人）なお、9月23・24日に第34回四日市市北部地区秋の文化祭をあさけプラザにおいて開催し、展示や舞台等の多彩な催しを実施
- ・芸術鑑賞会等 3,000,000円
8月24日劇団ポプラ「ピーターパンとウエンディ」（文化会館第2ホール）入場者数1,101人
平成13年2月6日二十一世紀歌舞伎組公演（文化会館第2ホール）656人
- ・みえ県民文化祭共催事業費 425,570円
第6回みえ県民文化祭の部門別フェスティバルとして平成12年10月15日に文化会館第1ホールにおいて「バレエ&モダンダンスフェスティバル」を開催（入場者数1,700人）
- ・都市間文化ネットワーク開催事業費 200,000円
名古屋・豊橋・浜松・岐阜・四日市の5都市で構成する都市間ネットワーク研究会の文化事業「吉田城夏まつり・郷土芸能祭」を豊橋市で8月6日に実施し、本市からは立阪神社獅子保存会が出演。また、9月～2月にかけて「舞台芸術ワークショップ」を文化行政担当者を対象に実施
- 〔文化振興育成事業費〕 19,724,394円
 - ・文化振興基金積立金 54,203円（その他特財 54,203円）
（昭和60年4月設置 本年度末現在高 205,851,618円）
 - ・文化功労者表彰経費 228,191円
学術・芸術その他文化振興に多大な貢献をした3人の方々の栄誉を讃え、功績を顕彰するため表彰式を11月3日に博物館エントランスホールで行い、四日市大学室内合奏団「ロンド」のミニコンサートも併せて実施
 - ・文化振興財団自主事業費補助金 16,000,000円
 - ・文化活動団体育成事業費等 3,442,000円（その他特財 845,215円）
文化団体の活動を支援し、本市の文化の発展と向上に資するため四日市市文化協会及び文化団体協議会に経費を助成
市内の文化団体の指導者や代表者に対して文化活動に対する姿勢や考え方を再認識する機会を提供するために「大垣市での交流と施設見学」を実施
- 〔施設管理運営費〕 342,495,655円
 - ・文化会館・茶室 321,195,853円（その他特財 104,569,718円）
文化会館と茶室「泗翠庵」の適正な運営と維持を図るため、四日市市文化振興財団へ管理を委託
 - ・一般経費 21,299,802円
- 〔文化会館整備事業費〕 55,886,600円
前年度に引き続き第2ホール照明設備改修を実施し、展示棟防水改修工事を行いました。また、第1ホールの音響・照明設備並びに中央制御装置更新工事に着手しました。

事業内容	実施額	うち特定財源	
第2ホール照明設備改修	38,150,000円	市債	36,300,000円
展示棟防水改修	8,400,000円		
第1ホール音響・照明設備改修	5,775,000円	市債	4,900,000円
中央制御機器更新	577,500円		
スプリンクラー配管補修 外	2,984,100円		

〔一般経費〕 1,059,838円

文化会館施設利用状況

施設名	開館日数(A)	利用日数(B)	利用件数	利用率 B/A×100
第1ホール	259日	213日	168件	82.2%
第2ホール	247	218	183	88.3
第3ホール	316	291	391	92.1

第4ホール	315	301	662	95.6
第1展示室	312	224	117	71.8
第3展示室	312	262	98	84.0
第4展示室	313	210	82	67.1
第1会議室	317	240	295	75.7
第2会議室	317	311	604	98.1
第3会議室	317	309	563	97.5
和会議室	317	281	649	88.6
第1リハーサル室	317	308	542	97.2
第2リハーサル室	316	308	640	97.5
第1練習室	317	262	358	82.6
第2練習室	317	305	567	96.2
第3練習室	312	295	501	94.6

催物

区分	洋楽	邦楽	歌謡	軽音楽	洋舞	日舞	演劇	演芸	芸能	映画	講演	式典	複合	その他
第1ホール	13	3	16	24	5	6	23	6	4	5	29	13	17	4
第2ホール	36	3	6	9	4	14	14	3	2	15	36	15	19	7

茶室「泗翠庵」(施設別利用状況)

区分	広間及び次の間	小間	計	利用人員	立礼席利用人員	使用料収入
利用件数(件)A	76	45	121	延 4,624人	延 5,831人	830,760円
利用日数(日)B	84	46	—			
開館日数(日)C	306	306	—			
利用率(%)B/C	27.5	15.0	—			

〔成果〕

市民に対して、芸術・文化を鑑賞する機会と文化活動の場を提供するとともに、文化活動団体への支援を行い、市民の芸術・文化に触れる機会の充実や担い手の育成を図りました。また、文化会館の改修工事を施工し、文化活動の環境整備に努めました。

目3 青少年教育費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
54,448,000円	52,990,577円		1,457,423円

地域や家庭など子どもを取り巻く育成環境の充実が求められるなか、留守家庭児童対策としての学童保育所補助事業や、子どもの遊び場を提供する子ども広場整備事業などを通して、時代に即した育成環境の充実を図りました。

〔委員報酬〕	240,700円		
・青少年問題協議会委員 16人	83,000円		
・少年センター運営協議会委員 16人	157,700円		
〔家庭教育振興事業費〕	2,100,523円		
・家庭教育講演会開催費	504,523円		
・家庭教育講座委託事業費	1,476,000円		
・企業内家庭教育講座事業費	120,000円		
〔青少年相談事業費〕	617,360円		
〔青少年育成研修費〕	1,978,580円		
ジュニア・サブリーダー養成事業	731,876円		
県外体験学習事業	1,167,834円		
青少年指導者合同研修会	78,870円		
〔青少年健全育成事業費〕	32,221,423円		
・優良少年団体表彰経費	55,020円		
・子ども緊急避難所設置推進事業費	392,910円		
・学童保育事業費補助金	23,804,000円		
海蔵・笹川・日永・桜・常磐・常磐西・内部・高花平・内部東・四郷・川島・下野・県・富洲原 浜田・大矢知・泊山 対象児童 527人			
・青少年健全育成施設整備費補助金	7,339,000円		
新設1カ所・補修33カ所・増設1カ所・危険防止2カ所・ゆりかごブランコ撤去13カ所			
・青少年健全育成強調月間事業費	630,493円		
月間期間内に、青少年（イベントボランティア「汗かき隊」61名）自らの企画運営による親子ふれあいイベントを実施			
〔少子化対策学童保育事業補助金〕	1,200,000円	（その他特財	1,200,000円）
安心して子育てできる環境づくりを進めるため、4学童保育所に対して補助を実施し、教材等の充実に努めました。			
〔補助金〕	9,665,000円		
・四日市市子供会育成者連絡協議会	4,400,000円	（その他特財	1,700,000円）
・四日市市青少年育成市民会議	1,755,000円		
・地区青少年育成推進団体	3,150,000円		
・四日市海洋少年団	180,000円		
・B・S・G・S四日市地区協議会等	180,000円		
〔負担金〕	121,000円		
・三泗地区広域補導協議会	100,000円		
・三重県青少年補導センター連絡協議会等	21,000円		
〔一般経費〕	4,845,991円	（県支出金	400,000円）
青少年の補導状況			

補導少年延人数					少年相談件数		
小学生	中学生	高校生	その他	計	面接	電話	計
79人 (8.3%)	170人 (17.8%)	458人 (47.9%)	249人 (26.0%)	956人 (100%)	件 8	件 63	件 71

〔成果〕

心豊かでたくましい青少年の育成を主眼として、青少年育成団体への活動支援と同時に育成者・指導者の養成に努めました。また、企業内家庭教育講座等を開設し、人格形成の根幹である家庭教育の充実を図るとともに非行防止のための啓発活動をはじめ、問題行動の未然防止や早期発見、さらには本人・保護者からの相談活動に努めました。環境浄化活動については、電話ボックス内の有害広告物の撤去運動を強力に推進するとともに、補導員の資質の向上のための研修事業の充実に努めました。

目4 公民館費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,863,000円	18,186,554円		2,676,446円

地域における社会教育活動は、地域社会づくり及び生涯学習推進の視点から、23の地区市民センターを拠点として、住民の暮らしや地域に根ざした学習と併せて、地域における関係団体の育成を図り、よりよい地域社会づくりに努めました。

〔委員報酬〕 99,600円

・地区市民センター運営審議会 12人

〔生涯学習振興事業費〕 14,825,721円

地区市民センター事業活動状況
講座実施状況

施設利用状況

講座(対象)	回数	参加人数
青少年	84	4,541
女性	40	663
成人	298	8,227
高齢者	121	4,958
リーダー研修	6	305
全住民	74	2,647
スポーツ・レクリエーション	60	2,899
家庭教育	130	6,258
小計	813	30,498

活動内容	回数	参加人数
地区市民センター主催事業(講座)	813	30,498
サークル活動	22,509	289,059
団体活動 1	1,752	166,368
団体活動 2	117	3,008
地域振興活動 3	943	109,173
合計	26,134	598,106

- 1-社協、同推協、婦人会、老人クラブなど
- 2-民生委員会
- 3-自治会、地域社会づくり推進委員会

〔学校開放事業費〕 1,185,868円

学校開放鍵管理補助

〔負担金〕 248,600円

・三重県公民館連絡協議会等

〔一般経費〕 1,826,765円

〔成果〕

生活課題や地域課題に基づいた学習機会の提供など、多様な学習機会の提供により、地域住民の生涯学習の推進および地域社会づくり活動の支援を図りました。

目5 図書館費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
246,566,000円	146,888,138円	97,365,000円	2,312,862円

市民の文化生活的向上に資するため、資料の収集整備と図書館サービスの質的向上を図り、生涯学習時代にふさわしい「市民の図書館」づくりに努めました。また、施設・設備の改修等、適正な維持管理を行い、効果的な予算の執行に努めました。

なお、翌年度繰越額については、施設整備事業に係るものです。

〔委員報酬〕 190,900円

・図書館協議会委員 8人

〔図書資料整備費〕 37,957,029円

図 書 区 分		11年度末蔵書冊数	受 入 冊 数	払 出 冊 数	12年度末蔵書冊数
成 人 図 書		207,254	18,616	5,338	220,532
児 童 用 図 書		54,322	3,646	1,313	56,655
児 童 紙 芝 居		1,025	49	33	1,041
点 字 資 料		(1,407タイトル) 4,936	(137タイトル) 615	(241タイトル) 844	(1,303タイトル) 4,707
録 音 資 料		(2,878タイトル) 11,231	(101タイトル) 510	(57タイトル) 379	(2,922タイトル) 11,362
計		278,768	23,436	7,907	294,297
移 動 図 書 館	成 人 図 書	29,146	2,361	8,181	23,326
	児 童 用 図 書	14,787	531	136	15,182
	児 童 紙 芝 居	847	5	16	836
	計	44,780	2,897	8,333	39,344
合 計		323,548	26,333	16,240	333,641

〔同和問題啓発拠点推進事業費〕 1,592,595円
同和問題に関する図書・史(資)料の収集・整備に努めるとともに、同和問題関係図書を教育集会所及び市民会館へ配本しました。

〔施設管理運営費〕 57,106,491円 (その他特財 535,667円)

〔図書管理システム整備事業費〕 34,972,595円
図書管理システム、三重県図書館情報システムの効率運用に努め、利用者サービス向上を目指しました。また、本市出身の作家丹羽文雄氏の関係資料をデジタル映像化し、CD-ROMを作成しました。

〔施設整備事業費〕 14,882,028円
老朽化した消防設備などを改修しました。また、空調設備改修工事の設計を実施しました。

〔負担金〕 186,500円

・日本図書館協会等

〔成 果〕

効率的・効果的な運用を図り、利用者サービスの向上に努めました。また、老朽化の著しい施設整備の改修を行い適正な維持管理に努めました。

利用状況

	開館日数	利用者数	登録者数	貸出者数	貸出冊数	相談件数
平成11年度	276	266,348	70,061	132,679	665,278	7,601
平成12年度	273	265,657	73,172	136,457	691,364	7,442

目6 少年自然の家費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
69,637,000円	69,400,625円		236,375円

少年自然の家は、豊かな自然の中で、集団宿泊活動、野外活動、自然・環境学習活動、芸術活動等の様々な体験活動を通して、問題解決能力、豊かな人間性、たくましい体力を身に付けた青少年を育成するため次のような事業を実施しました。

〔委員報酬〕

・少年自然の家運営協議会委員 9人 83,000円

〔主催事業費〕

・主催事業4種15回の開催 2,409,252円
小中学生を対象とした事業 5回

アドベンチャースクール 春	小学5・6年生 97人	5/27～28	登山、野外炊事等
アドベンチャースクール 秋	小学5・6年生 58人	10/21～22	登山、野外炊事等
わくわく冒険キャンプ	小学3・4年生 130人	7/25～26	野外炊事、キャンプファイアー
ワイルドキャンプ	小学6～中学生 62人	8/7～11	住か作り、源流探検等
ウインターフェスタ	小学5・6年生 137人	12/25～26	乗馬体験・野外炊事等

家族を対象とした事業 4回

「山の幸を味わおう！」	市内在住10家族 36人	4/22～23	自然食品採集・野外炊事
「森の中でのテント泊をしよう！」	市内在住28家族 69人	6/3～4	テント泊・ウナギつかみ等
「好きなプログラムを選ぼう！」	市内在住8家族 32人	9/30～1	野外炊事・選択プログラム
「冬のアウトドアを楽しもう！」	市内在住16家族 57人	1/27～28	もちつき・宝探し等

家族開放デー 2回

自由なプログラムで過ごそう ①	市内在住5家族 19人	10/8～9	各家族の自由プログラム
自由なプログラムで過ごそう ②	市内在住10家族 42人	11/18～19	各家族の自由プログラム

広く一般を対象とした事業 2回

自然と語ろう「春の御池花めぐり」	小学5年生～大人24人	4/30 日曜日	春の草花観察
自然と語ろう「紅葉の渓谷トレッキング」	小学5年生～大人28人	11/5 日曜日	愛知川 紅葉トレッキング

指導者を対象とした事業 3回

アウトドアセミナー ①	高校生～一般 18人	5/26 日曜日	野外炊事・キャンプファイアー 実習
アウトドアセミナー ②	高校生～一般 12人	7/1 日曜日	野外炊事・キャンドル実習

〔施設管理運営費〕

57,432,304円 (その他特財 14,648,355円)

利用状況

施設	自然の家・センター		キャンプ場		合計		利用者内訳	
	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	市内	市外
8	211	17,176	23	1,743	234	18,919	15,863	3,056
9	228	18,413	23	1,743	251	20,156	16,582	3,574
10	180	15,410	43	3,229	223	18,639	15,322	3,317
11	170	15,609	57	3,609	227	19,218	16,263	2,955
12	196	16,593	20	1,759	216	18,352	14,887	3,465

〔水沢市民広場管理運営費〕

4,327,189円

市民広場の芝生・樹木の維持管理、トイレの清掃及び広場清掃等の委託業務により、市民のだれもが快適にいつでも利用できる状態を維持しました。

〔施設整備事業費〕 5,108,880円（市債 3,000,000円）
 施設のバリアフリー化として分館1階・2階トイレ改修及び分館入口にスロープを設置することにより、障害を持った来所者が安全に利用できるように整備しました。
 〔負担金〕 40,000円
 ・全国少年自然の家連絡協議会等

〔成果〕

主催事業では、参加対象・季節を考慮し、生きる力をはぐくむという観点から、自己判断力と協調性を中心目標として、今後の生活に生きて働く価値ある体験活動を取り入れたことにより、友達や自分を見詰める契機になりました。

受入れ事業では、社会教育施設としての立場を保ちつつ柔軟な対応に心掛けたこと、また、誰もが安心して利用しやすい施設をめざし設備の新設・改修を進めることにより利用団体から好評を得ることができました。

目7 博物館費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
311,890,000円	307,990,573円		3,899,427円

貴重な文化遺産の保存と活用を図り、郷土の歴史や風土と生活・文化に関する知識や理解を深め、市民文化の創造に寄与する生涯学習の場としての施設運営を行いました。また、併設するプラネタリウムにおいては、季節番組の投映や天体の観望会等とおして天文知識の普及、啓発に努めました。更に、市民の皆様が利用しやすく親しみやすい施設をめざして努力しています。

〔委員報酬〕 257,300円

・博物館協議会委員 20人

〔自主事業費〕 157,252,080円

・調査研究事業費 4,278,084円

六道信仰、市内寺院等資料所在調査確認、学校週5日制対応調査や次年度以降企画展等調査、秤乃館コレクション所蔵確認調査及び古文書ボランティアも参加した「研究紀要」第8号の発行を行いました。

古文書ボランティア 登録者 39人

・特別展等開催費 82,142,760円（その他特財 19,351,130円）

展覧会名等	実施額	会期	観覧者数	講演会等人数
新 弥生紀行 北の森から南の海へ	2,811,620 (16,688,273)	4/1～ 4/11 (2/24～ 4/11)	916人 (3,307)	回 1 人 6
粋と艶 旅のあこがれ MOA 美術館所蔵浮世絵版画名品展	9,814,285	4/22～ 5/23	9,699人	1 110
2000イタリア・ボローニャ国際 絵本原画展	9,247,386	6/18～ 7/16	7,598人	2 145
はるかなる星空の世界 ～宇宙を観る～	9,831,420	7/29～ 9/10	3,707人	1 50
第5回発掘展 四日市市埋蔵文化財展2000	492,035	9/16～ 10/9	2,018人	
－王朝の精華－ 近衛家と陽明文庫の至宝	20,077,497	10/21～ 11/26	5,551人	2 130
親子で遊ぶ 木とのふれあいワールド展	8,146,373	12/7～ 2/4	8,682人	3 60
文豪丹羽文雄 その人と文学				

ひと我を非情の作家と呼ぶ	5,257,988	2/22～ 3/13	2,275人	1	250
みやびの情景・京の日本画 京都市立芸術大学の伝統と革新	9,871,085	3/25～ 3/31 (3/25～ 5/6)	986人 (8,059)		
教育展示、特別陳列、次年度事業等	6,593,071				
計 (12年度)	82,142,760	226日	41,432人	11	751

参考 常設展合計 307日 29,966人

- 資料収集保存事業費 17,382,256円
本市及び北勢地域に関連のある展示・研究資料の収集保存、資料委員会の開催並びに収蔵庫及び展示室の燻蒸を行いました。
- 教育普及活動事業費 3,211,061円
博物館教室 名作鑑賞講座「ミレーを中心とした19世紀フランス絵画」定員59人受講
「日本霊異記を読む」定員20人受講
夏休み子ども博物館教室「石器を使ってみよう」他 全10回 121人受講
月例土曜講演会 10回 524人受講
解説ボランティア 登録者 121人
- プラネタリウム運営事業費 49,441,328円 (その他特財 6,569,050円)
一般投映季節番組

内 容	期 間
春の星座解説と「宇宙今昔物語」	3/28～ 6/11
夏の星座解説と「人類の目 ずばる望遠鏡物語」	6/17～ 9/17
秋の星座解説と「宇宙の謎 ブラックホール」	9/23～ 12/10
冬の星座解説と「ムーミン谷のオーロラ」	12/17～ 3/11
春の星座解説と「ヘラクレスの大冒険」	3/17～ 6/10

投映回数合計 1,035回
観覧者数合計 29,317人
(H. 12. 4. 1 ~ H. 13. 3. 31)

ヒーリングプラネタリウム (音楽を中心とした 心と体の癒しのプラネタリウム)
学習投映番組 (学校園団体利用)
特別番組 外部講師による解説投映、星空生演奏コンサート
星空CDコンサート、春休み幼児向け番組
観望会 流星観望会
天文教室 親子星空教室、子ども天文教室
展示会 天体写真展

- 移動天文車運営事業費 796,591円
「きらら号」稼働状況 申込 106件、出勤 87回 (天文教室含む)、10,426人参加
天文指導員 (ボランティア) 登録者 69人
- 〔施設管理運営費〕 150,370,943円 (その他特財 2,043,681円)
- 〔負担金〕 110,250円
- ・日本博物館協会等

〔成 果〕

特別展等の企画展示については、従来からの絵画、浮世絵、絵本原画、埋蔵文化財展等のほか、本市出身の文化勲章受章作家丹羽文雄氏や、宇宙・天体に関するもの、更には展示品に「さわれる」<遊べる> 展覧会まで広範多彩に開催し、多くの方々に歓迎されました。観覧者数も前年度に比べて増加 (約 7,700人、常設展約 1,900人) しました。学校週5日制を前に、子どもを対象とした事業の充実を図りました。また、展覧会の解説ボランティアも積極的に活動し、市民とともに学び合う機会を持っています。プラネタリウムについては、従来からの学校、園対象の番組や季節番組等の他に、開館延長時に音楽を中心としたヒーリングプラネタリウムを行いました。観覧者は漸減 (前年度比約 1,900人) となりました。一方、移動天文車では、天文指導員 (ボランティア) の協力のもと、約 1万人の市民に実際の星空や太陽を観望していただきました。

項6 保健体育費
目1 保健体育総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
155,457,000円	153,917,107円		1,539,893円

〔委員報酬〕

・スポーツ振興審議会委員	9人	74,700円	
〔一般職給〕	14人	140,579,080円	
〔嘱託職給〕	4人	12,144,746円	
〔一般経費〕		1,118,581円	

目2 体育振興費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
71,722,000円	68,133,145円		3,588,855円

スポーツは健全な日常生活を営むためになくはないものとの市民意識の高まりによるスポーツ人口増加に対応するため、本年度も体育振興の重点をスポーツ活動の日常化に置き、各種スポーツ教室・大会を開催するとともに、各地区に体育指導委員を配置し地域のスポーツ組織の育成及びニュースポーツの普及を行い、生涯スポーツの振興に努めました。

〔スポーツ活動振興事業費〕 17,291,810円

・地域スポーツ活動振興事業費 18教室、3講習会、27大会等開催 参加人員 9,338人	11,648,871円	〔 県支出金 1,889,000円 その他特財 3,481,100円 〕
・少年スポーツ活動振興事業費 6教室、2講習会、8大会等開催 参加人員 3,971人	4,116,090円	〔 県支出金 944,000円 その他特財 456,050円 〕
・体力づくり市民大会開催事業費 10/8 四日市ドーム等で開催 参加人員 5,000人	1,017,112円	
・スポーツ功労者表彰経費 本市のスポーツ振興に貢献されたスポーツ功労者2人、栄光者5人、奨励者5人1団体を表彰しました。	509,737円	

〔学校開放事業費〕 12,661,283円 (その他特財 1,358,000円)

市内の小学校39校、中学校21校の体育施設を開放しました。

〔補助金〕 30,471,000円

スポーツの振興を図るため、各種団体補助金、スポーツ奨励金等を次のとおり支出しました。

・四日市市体育協会	4,536,000円
・三重県中学校体育連盟三泗支部	7,041,000円
・四日市市レクリエーション協会	475,000円
・四日市市スポーツ少年団	630,000円
・四日市市体育指導委員連絡協議会	270,000円
・全国大会出場選手激励金等	9,965,000円
・国民体育大会出場選手育成費	2,000,000円
・全国大会等開催費	375,000円
・全国スポーツ・レクリエーション祭開催費	2,650,000円
・少年スポーツ交流大会開催費	194,000円
・四日市シティロード事業費	1,000,000円
・地域スポーツ振興事業費	1,080,000円
・スポーツ指導員派遣事業費	255,000円

〔負担金〕 1,003,696円

・三重県体育協会等

〔一般経費〕 6,705,356円 (国庫支出金 764,000円)

〔成 果〕

多くの市民の方が気軽にスポーツに親しめるように、各種講習会・スポーツ教室や市民スポーツ大会を開催しました。また、平成13年度に三重県で開催される第14回全国スポーツ・レクリエーション祭に向けて、実行委員会の組織化やリハーサル大会を実施するなど、開催準備を進めました。

目 3 体育施設費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
392,510,000円	390,308,465円		2,201,535円

中央緑地及び霞ヶ浦の両体育館におきましては、床面の老朽化にともない、全面的な張替工事を行いました。また、中央緑地体育館に関しては、経年による施設全体の老朽化が著しいため、ロビー床面張替、屋外手すり改修など大規模な工事を行い、リニューアルを図りました。霞ヶ浦サッカー場では、利用時間拡大のために夜間照明を設置しました。また、市営運動施設が市民に良好かつ安全に利用していただけるよう日常の維持管理に努めました。

〔運動施設管理運営費〕	271,610,115円	
・中央緑地運動施設等管理委託費	105,741,173円	
・一般経費	165,868,942円	(その他特財 70,492,939円)
〔運動施設整備事業費〕	118,678,650円	

事 業 内 容	実 施 額	う ち 特 定 財 源	
		市 債	
霞ヶ浦サッカー場夜間照明設置	40,950,000円	市 債	40,600,000円
霞ヶ浦体育館床改修	22,050,000円		
霞ヶ浦運動用舟艇場浮棧橋台設置	6,300,000円		
中央緑地体育館床改修等 (平成12・13年度債務負担事業)	45,241,650円	市 債	34,200,000円
温水プールボイラー改修	3,139,500円		
その他運動施設	997,500円		

〔負担金〕	19,700円
・三重県体育施設協会等	

〔成 果〕

霞ヶ浦体育館においては床の張替工事により、快適なスポーツ環境が確保され、大勢の市民から好評を得ました。また、霞ヶ浦サッカー場においては、かねてから利用者より強い要望のあった夜間照明を設置し、収入面では前年度比 203%と前年を大幅に上回り、大勢の市民に利用され好評を得ました。

目 4 四日市ドーム費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
124,518,000円	122,461,498円		2,056,502円

昨年度同様、市民サービスの向上に重点を置き、一般公開日掲載誌の配布拡大や、インターネット上でのリンク拡充など積極的な広報活動を展開し、ドーム利用の更なる促進に努めました。

〔自主事業費〕	330,090円	
〔イベント誘致活動費〕	623,700円	
〔施設管理運営費〕	120,461,708円	(その他特財 43,085,412円)

〔補助金〕	1,000,000円
・イベント開催費	
〔負担金〕	46,000円
・全国展示場連絡協議会	

〔成 果〕

前年度に引き続き、市民サービスの向上を図るべく、一般公開開催日数を増加させ、収益、稼働率、利用者の増加に努めました。

専用使用においては、全国老人保健施設大会や全国生涯学習フェスティバル、全日本美容技術選手権大会といった全国級のイベントが開催されたことにより、収益面では前年度比 123%と前年度を大幅に上回るとともに、全国へ向けての情報発進拠点の役割を果たしました。